

見本帳製作一筋、ベトナム生産で世界へ挑戦

納期相談
企画力自信有
オンライン技術
量産対応



絨毯や婦人・紳士服の生地などの色や図柄が簡単に選べる見本帳

業務内容
ノウハウと鋭い検査で差別化、高い存在感

見本帳とは、顧客がカーテンや壁紙、婦人・紳士服の生地などの色やデザインを簡単に比較できるように、これら多種多様な色や図柄を小片にして台紙に貼り、まとめた現物カタログのこと。同社は明治33年に製本業として創業、昭和50年頃からこの見本帳に特化し、現在は月間60〜70件の受注をこなしている。

バブル期以降、安価な中国企業に多くの国内見本帳業界が席巻され、現在では国内10社程度になったが、そんな中でも長年培ったノウハウを生かした提案やベテランの鋭い検査による品質で差別化を図り、高い存在感を示している。

強み
30冊から30万冊まで多品種少量・短納期への対応

強みの1つは多品種少量・短納期への対応だ。長年のノウハウで顧客に最適な見本帳を提案しており「これまで受けた仕事でユニークなものは瓦や庭石（砂利石）があった。扱った種類は数え切れない」と清水俊郎社長は扱う幅の広さに胸を張る。製作そのものは台紙に色紙や生地を貼る仕事ですべて手作業のため、安定した外注先の確保が重要だ。

同社では近隣エリアにパートの作業者を常時100名程度抱えることで、急な要請はもちろん、最小は30冊から最大は30万冊まで顧客の求める多品種少量・短納期のニーズに対応している。

品質管理
二重チェックでトラブル防止、顧客から厚い信頼

品質管理にも自信を見せる。生地や色紙を

貼る際の接着剤の盛り方や正確な貼り方などに細心の注意を払う。壁紙やフローリングなどでミスが出ると大きなトラブルにつながりかねない。

そこで同社では20年以上の検品のベテラン3名が色や図柄の配置ミスやノリのはみ出しなどを二重チェックし、トラブルを未然に防いでいる。中国製とは20〜30%程度の価格差はあるが、この検品による品質の高さが、マイナスを補うばかりか、顧客から厚い信頼を勝ち得ている。

今後の展望
ベトナムに新工場、世界へ飛躍

最近では、仕事の増加に伴い、見本用の壁紙や服の生地の保管に苦労している。そこで、本社をはじめ、近隣に展開する工場や倉庫を集約し、生産のさらなる効率化を目指している。加えて社員を毎年採用し、検品作業などへの技能継承にも力を入れている。

海外展開も積極的だ。取引会社と合併でベトナムの会社には仕事を教えて委託し、平成29年1月にベトナムに敷地面積約1万㎡、従業員約300名の見本帳製造工場を稼働させた。清水社長は「数年後には年間10億円の売り上げを目指す」と意気込む。厳しい時代を乗り越え、世界へ飛躍する同社の挑戦が始まっている。



本社工場外観



見本帳の製作風景

当社の歴史



明治33年、大阪市東区（現中央区）で製本業を始め、昭和50年頃から見本帳に特化し、以降40年間、カーテンや絨毯などのインテリアや紳士・婦人服などの繊維をはじめ、さまざまな見本帳を手がけてきました。顧客の要望に応じて多品種少量に対応し、高品質な見本帳を提供しています。

代表取締役 清水 俊郎さん

<http://shimizusample.co.jp/>

主な事業内容

インテリア・紳士・婦人服用生地などの見本帳製作

主な取引先（納入先）

メーカー、販促品企画会社、印刷会社

住所

〒570-0043
守口市南寺方
東通4-22-6

TEL 06-6991-3215
FAX 06-6991-3261
創業 明治33年
設立 平成2年6月
資本金 300万円
従業員 18名

大版28